

平成 31 年 4 月 8 日

各 位

九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門  
農業生物科学講座 植物育種学分野  
准教授候補者選考委員会  
委員長 松岡 健

九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門  
農業生物科学講座 植物育種学分野  
准教授候補者の推薦について(依頼)

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座 植物育種学分野 准教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

准教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する准教授は、大学院農学研究院資源生物科学部門農業生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻農業生物科学教育コースおよび農学部生物資源生産科学コース農学分野担当教員となります。

当該職が担当する農業生物科学講座は、農作物を中心とした農業生物資源の安定供給、革新的生産技術、保護管理、有効利用、および持続的圃場管理等に必要な植物、動物、昆虫、微生物、生物環境等に関する研究を担当し、高生産性・高品質な農作物の開発、分子育種、植物防疫、天敵・病害虫管理、昆虫工場、並びに農業生態系の維持に関する先端的知識と技術の確立を目指しています。また、担当する大学院および学部においては、これらの研究に関連する基礎、および応用研究に携わる人材を組織的に養成するための教育を進めています。

当該部門および当該講座の目標を実現するにあたっては、農業生物資源の持続的安定供給の確立や生物資源の保護管理が重要です。植物育種学分野では、特に、植物の遺伝育種学に関する基礎および応用研究が不可欠であり、イネのゲノム情報を駆使した新しい育種やゲノム科学に関する教育研究が求められます。

今回採用する准教授は、そのなかでも、

- 1) イネの遺伝子マッピングと遺伝子単離に関する研究
- 2) イネの各種形質に関する遺伝育種学的研究
- 3) イネの進化・分化に関する研究

等の領域における優れた研究業績を有し、植物育種学と植物ゲノム科学に関する先進的教育研究を推進しうる方を求めています。

### 3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

### 4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域1)～3)において優れた業績と該博な知識を有し、大学院及び学部の教育研究に熱意を持って取り組む方

### 5. 担当授業科目

#### (1) 大学院

##### ・大学院修士課程

(資源生物学専攻農業生物学教育コース)

農業生物学特論, 植物遺伝育種学特論, 農業生物学プロジェクト演習, 農業生物学輪講, 農業生物学演習第一, 同第二, 農業生物学ティーチング演習, 農業生物学演示技法, インターンシップ, 国際交流演習, 国際交流実践演習, 農業生物学特別研究第一, 同第二等

(国際コース)

特別演習 I, 同 II, 修士論文研究 I, 同 II, 農業生物学特論, ティーチング演習, 演示技法, インターンシップ等

##### ・大学院博士後期課程

(資源生物学専攻農業生物学教育コース)

農業生物学特別実験, 農業生物学特別講究, 農業生物学特別演習, ティーチング演習, 国際演示技法, インターンシップ, プロジェクト演習, 国際交流演習, 国際交流実践演習等

(国際コース)

農業生物学特別実験, 農業生物学特別講究, 農業生物学特別演習, ティーチング演習, 国際演示技法, インターンシップ, プロジェクト演習等

#### (2) 学部

(生物資源生産科学コース農学分野)

植物育種学各論, 生物統計演習, 農学実験第一, 同第二, 同第三, 化学実験, 分子生物学実験, 科学英語, 農学入門 I, 卒業研究等

(国際コース)

Genetics and Plant Breeding 等

(担当可能な基幹教育科目)

集団生物学, 学術英語 3 等

## 6. 提出書類

### (1) 略歴書

### (2) 業績目録(新しい順に記載)

I. 原著論文: 著者名(本人の氏名に下線を, 本人が責任著者の場合は\*を記すこと), 題名, 掲載雑誌名, 巻, 頁, 発行年の順, (i) 査読付き雑誌, (ii) 査読なし雑誌, (iii) 国際学会プロシーディングス, (iv) その他, で区分すること

II. 著書: 著者名, 題名, 発行所, 頁, 発行年

III. 総説, 解説等: 著者名, 題名, 掲載雑誌名, 巻, 号, 頁, 発行年

IV. 特許・品種登録等

V. 学会等での受賞

VI. 国際学会等招待講演

VII. 外部資金の導入実績: 名称, 研究課題名, 期間, 金額, 代表・分担の別

VIII. 教育実績

IX. 社会貢献等の実績

X. その他: 資格等

### (3) 主要論文の別刷またはその写し(5編)

(4) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負(1,500 字以内)

(5) これまでの教育の実績と今後の教育に関する抱負(1,500 字以内)

(教育実績のない場合は, 今後の教育に対する抱負)

(6) 上記(1), (2), (4), (5)のWordファイルとPDFファイル、および(3)のPDFファイル、を保存したUSBメモリー

### (7) 推薦書

自薦の場合: 自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先

他薦の場合: 推薦書(1通)

注;(1), (2), (4), (5)については, 次の URL にあるフォーマットに従って作成してください。

[https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/LUk0gAYIsA6AXCoBC\\_BpAVT7DeDLRP\\_QOWhnmA3mHBv](https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/LUk0gAYIsA6AXCoBC_BpAVT7DeDLRP_QOWhnmA3mHBv)

## 7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

## 8. 勤務地

九州大学伊都キャンパス(福岡市西区元岡744)

## 9. 提出締切

令和元年5月27日(月)正午必着

## 10. 提出書類送付先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座

植物栄養学分野

植物育種学分野准教授候補者選考委員会

委員長 松岡 健

電話:092-802-4713

E-mail: kenmat@agr.kyushu-u.ac.jp

書類は、応募書類在中と朱書きの上、送付記録を証明できる方法（書留またはそれに準ずる）によること。

## 11. その他

(1)九州大学では、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り、教員の選考を行います。また、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

(2)九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。

(3)大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府、農学部の教育研究の概要等は、次のホームページをご参照下さい。 URL: <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>

(4)応募書類等は返却しません。なお、提出頂いた書類に含まれる個人情報を選考以外の目的には使用しません。

(5)給与等についての規定および問い合わせ先:

国立大学法人九州大学職員給与([http://www.kyushu-](http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/616/1/2004syuki014.pdf)

[u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/616/1/2004syuki014.pdf](http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/616/1/2004syuki014.pdf))

問い合わせ先:九州大学農学部庶務係(E-mail: [nosssyomu2@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:nosssyomu2@jimu.kyushu-u.ac.jp))